

3.11伝承ロード研修会 研修コース案内

一般財団法人 3.11伝承ロード推進機構



「なりわいの再生」

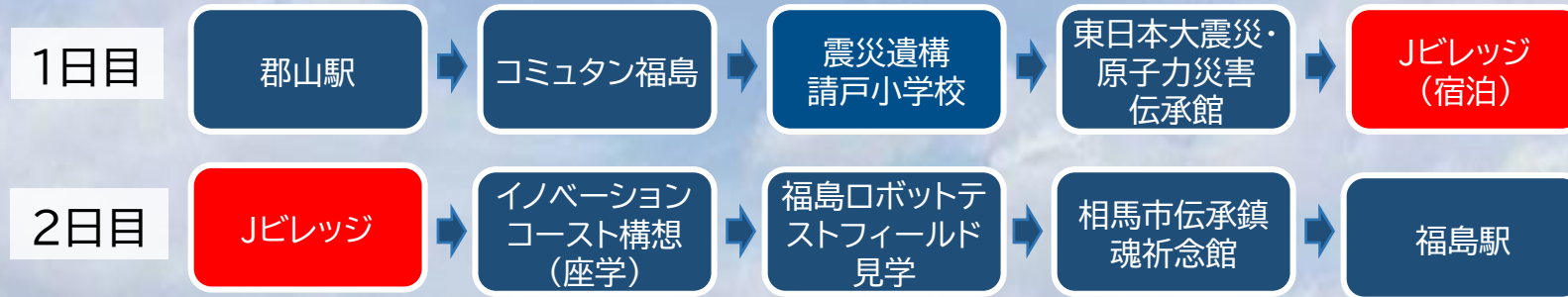
東日本大震災と原発事故の二つの大きな災害と事故に遭遇したにもかかわらず、被災地では除染を進め、なりわいの再生に向けた復興が始まっている。その実情と教訓を理解し、被災地の未来を知る。

留意事項

- ・定員10～20名
- ・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域:福島県沿岸部

研修領域:産業創成、放射線と除染、復興公園、避難行動、震災遺構



【研修内容】

- 津波被害と原子力災害の実情を知る。
- 放射線と除染の正しい知識を得る。
- 産業の創成に取り組む「イノベーションコースト構想」を学ぶ。
- 請戸小学校における震災当時の避難行動を知る。
- 福島沿岸部の津波被害を知る。

【学びの特色】

- 震災と原発災害の二つの大きな災害に見舞われた福島県沿岸部を中心エリアとして、震災と原発災害からの復旧・復興として、イノベーションコースト構想をもとに新規産業の創出と地域のなりわいの再生に取り組む状況を学ぶ。
- 津波被害とその避難行動を学ぶ。また、整備が進む国営祈念公園を視察する。



「賑わいの創出」

東日本大震災で甚大な被災に遭いながらも迅速な復興が進む女川町と、石巻市の旧北上川築堤事業を中心に、賑わいを創出しているその実情を学ぶ。

留意事項

- ・定員10～20名
- ・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域:宮城県女川町、石巻市、東松島市
研修領域:復興の町づくり、復興公園、震災遺構、景観整備

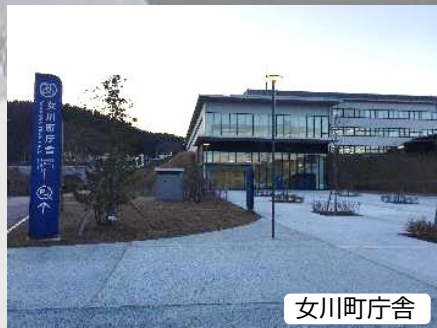


【研修内容】

- 東日本大震災後の賑わいの創出に向けた復興計画の考え方を学ぶ。
- 大規模な盛土工事とその進め方を学ぶ。
- 創出された賑わい空間を体感する。
- 市街地中心部の復興の考え方を学ぶ。
- 大規模河川を踏まえた賑わいの都市景観を理解する。

【学びの特色】

- 市街地中心部が大規模に被災した石巻、女川両市町が賑わいの創出に向けた考え方を学ぶ。
- 女川町においては復興計画から大規模な盛土工事を迅速に実施した経緯と賑わいの創出に向けた考え方を学ぶ。
- 江戸時代から舟運で賑わった石巻の川湊エリアが大規模に被災した。復興に向けた築堤事業とともに河川空間を生かした賑わいを形成する景観の考え方を学ぶ。



「震災伝承による復興」

東日本大震災の震災遺構を資源とし、復興に取り組む
気仙沼と陸前高田のその実情とともに大規模な
復興工事を学ぶ。

留意事項
・定員10～20名
・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域:宮城県石巻市、気仙沼市、
岩手県陸前高田市
研修領域:避難行動、震災遺構、土木技術、
復興の町づくり



【研修内容】

- 大規模な津波被害が想定される学校における避難行動と実際に起こった避難の実態を知る。
- 東日本大震災を代表できる伝承館を体験し、津波被害の教訓をあまねく理解する。
- 特殊な機材を用いた大規模な盛土工事を知る。
- 復興で創出された新市街地を体感する。
- 大規模な復興工事の実情を知る。

【学びの特色】

- 東日本大震災における震災遺構から、津波被害の実態と実際の避難行動を学ぶ。
- 東日本大震災を代表する二つの伝承館から、慰霊と鎮魂、被災直後から復旧・復興に向けた様々な団体等の支援活動を理解する。また、大規模なベルトコンベアを導入し、大規模盛土を実施した陸前高田市の状況や東北最大規模の斜張橋を見学し、最新の土木技術を理解する。



石巻市震災遺構 大川小学校



気仙沼湾横断橋



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



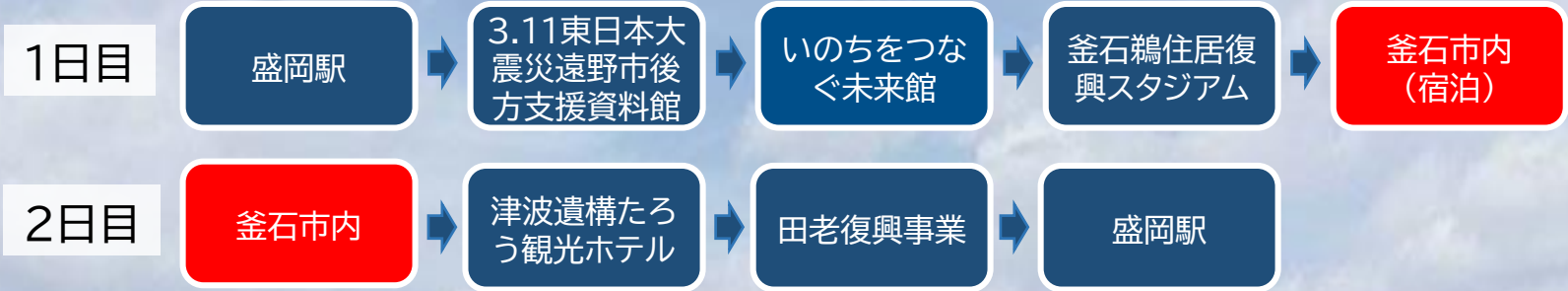
東日本大震災津波伝承館

「津波常襲地域の知恵と津波との戦い」

東日本大震災で大津波に遭遇しながらも、過去の教訓をもとに、多くの命が救われ、復興に取り組む津波常襲地域の現状を学ぶ。

留意事項
・定員10～20名
・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域:岩手県遠野市、釜石市、宮古市
研修領域:避難行動、防潮堤整備、
後方支援、復興の町づくり



【研修内容】

- 大規模な津波被害に遭遇した三陸沿岸市町村を支援した遠野市の活動を知る。
- 大津波からの犠牲と命を守る避難行動を知る。
- 三陸沿岸を代表する復興施設とその意義と役割を知る。
- 過去の津波被害を教訓として学んだ被害の軽減策を知る。

【学びの特色】

- 東日本大震災以前の支援訓練を実際に展開し、三陸沿岸市町村の支援基地となった遠野市の実態を学ぶ。
- 津波被害で多くの犠牲を払った施設と、犠牲者ができなかった迅速な避難行動の実態を学ぶ。
- 津波の常襲地帯における津波の向い方と避難の実態を学び、新たな町づくりとして復興が進む田老地区の実際を学ぶ。
- 三陸沿岸を代表するスポーツ施設に込められた意義と役割を知る。



3.11東日本大震災遠野市後方支援資料館



いのちをつなぐ未来館



津波遺構たろう観光ホテル



田老防潮堤

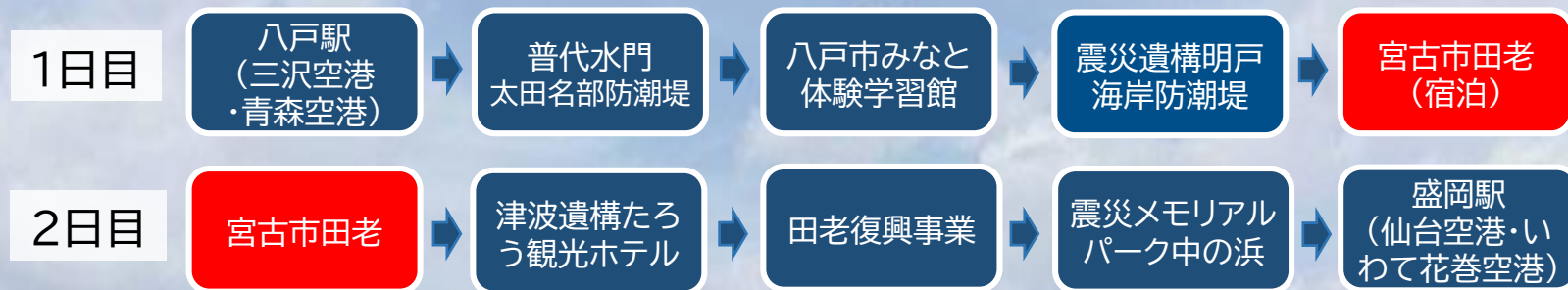
「市街地における津波の実情を知る」

市街地に津波浸水被害を受けながらも迅速な復旧を遂げた八戸市と津波に立ち向かい復興した津波常襲地域の知恵を学ぶ。

留意事項

- ・定員10～20名
- ・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域:青森県八戸市、岩手県宮古市
研修領域:津波被害、震災遺構、防潮堤整備、復興の町づくり



【研修内容】

- 密集した市街地を襲った津波の実態を知る。
- 津波常襲地帯における過去の教訓から学んだ知恵を知る。
- 大津波から命を守る避難行動と「備え」を知る。
- 津波常襲地帯における復興の津波対策を知る。

【学びの特色】

- 三陸沿岸で大規模な密集市街地を形成する八戸市の津波被害を学ぶ。
- 津波の常襲地帯として過去の教訓から「備え」としてかつてない高さを決めた防潮堤整備の意義と、津波の被害と避難の実態から新たな町づくりとして復興が進む田老地区の実際を学ぶ。

